

三原市国土強靱化地域計画（案）について

「安心して快適・安全に住み続けられるまち」の実現に向けて
 ～命と生活を守るために～

■計画策定の趣旨

- 大規模自然災害から市民の皆さんの生命や財産を保護し、生活に及ぼす影響を最小限に抑えるために必要な施策を、国や広島県、自主防災組織などの関係団体、市民の皆さんと連携しながら、総合的かつ計画的に実施します。
- 災害に強く、万が一災害に遭っても社会経済への被害が致命的とならず、迅速に回復するまちづくりをめざします。

■計画の内容

項目	内容
めざすべき将来像	安心して快適・安全に住み続けられるまち

実現

基本目標	人命の保護が最大限図られること など 4 項目
------	-------------------------

実現

事前に備えるべき目標	直接死を最大限防ぐ など 8 項目
------------	-------------------

リスクシナリオを防止することで上記目標を実現

リスクシナリオ (想定される最悪の事態)	住宅・建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や密集市街地における大規模火災による多数の死傷者の発生 など 38 項目
-------------------------	---

リスクシナリオを防止するための施策の推進

ハード面の施策

- 災害時の防災拠点や避難所の確保、建物の崩壊による被害防止のため、公共施設の長寿命化や耐震化の推進
- 救急・救助、人や物の支援、避難のために必要なインフラ施設（道路、橋梁、港湾施設、都市公園、管路等）の整備や耐震化の推進
- 災害時でも救急・救助活動を確実にを行うため、消防車両や資器材、消防署（出張所）や消防団屯所の建替え等の消防力の整備・強化
- 建物の崩壊による被害防止のため、住宅などの耐震改修の促進、空家対策の推進
- 被害拡大防止のため、広島県等と連携した、急傾斜地や山地、ため池の整備・崩壊防止対策の推進

など

ソフト面の施策

- 自助・共助を中心とした地域防災力を強化するため、自主防災組織や地域防災リーダーなどの活動支援や、消防団員確保のための取組の推進
- 避難行動要支援者の安全を確保するため、災害時における地域の避難支援体制づくりの促進
- 大規模災害に備え、市・警察・消防・ライフライン機関と連携・協力するための体制づくりの推進
- 大規模災害に備え、避難所などで備蓄物資や資器材を確保するとともに、自主防災組織や町内会、個人での備蓄の普及啓発
- 災害や復興支援情報の発信、風評被害防止のため、多様な手段での情報発信

など